# <u>・ヴィンチ、ピカソ、ゴーギャン、フェルメール</u>

# 主婦の心の叫びのツイートが

## で学ぶ主婦業』 8/27(月)発売

ファッション雑誌販売部数トップシェア(※)の株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取 締役社長:蓮見清一)は2018年8月27日に**書籍『#名画で学ぶ主婦業』を発売します。** 

本書では、ダ・ヴィンチ、ピカソ、ゴーギャン、フェルメールなどの名画とともに、主婦が思わず共感 する"眠らない我が子""毎日続く家事"など、"主婦業あるある"のキャプションをつけて紹介しています。

"#(ハッシュタグ)名画で学ぶ主婦業"とは、2018年5月にとある主婦がツイッターに、ジャック=ルイ・ ダヴィッドの名画《マラーの死》の画像とともに、【「来週月曜日は給食はありませんのでお弁当を 持たせてください。」という学校からの手紙を当日朝息子のランドセルから発見。」という主婦ならでは **のキャプションを付けて投稿したのが始まり。**名画とそのキャプションがリンクした投稿に、多数の共感 や笑いを生み、SNS上で、「その絶望感痛いほどわかります」「面白すぎる」などのコメントが付き、 26000以上もリツイートされ、52000以上の「いいね!」を獲得したことから話題になりました。その投稿 を見た多くのユーザーが、さらに名画とともに"主婦業あるある"を投稿したところ、ツイッターのトレンド 入りし、まとめサイトも立ち上がるなどネット上でブームになり、今回の書籍化に至りました。

本書では、ツイッターに投稿された多くの「#名画で学ぶ主婦業」から厳選した56点とともに、文星 芸術大学教授・田中久美子氏監修のもと、名画の歴史的背景、盛りこまれた寓意や見どころ、美術史 における名画の重要性などのためになる解説も掲載しています。

宝島社は、企業理念「人と社会を楽しく元気に」のもと、今後もさまざまな業界を盛り上げていくこと に尽力してまいります。 ※:日本ABC協会 雑誌発行社レポート2017年下半期(7~12月)より



SNSで話題になった 名画《マラーの死》と Twitter画面風の 表紙が目印!

#### 『#名画で学ぶ主婦業』

監修:田中久美子 2018年8月27日発売 定価:本体1200円+税

#### 掲載されている名画の一部をご紹介

- ■レオナルド・ダ・ヴィンチ 《洗礼者聖ヨハネ》
- ■サンドロ・ボッティチェリ 《パラスとケンタウロス》
- ■ウジェーヌ・ドラクロワ 《民衆を導く自由の女神》
- ■ジョン・エヴァレット・ミレイ 《オフィーリア》 など

初めてこのハッシュタグを用いた「祭り」を目にした際、爆笑しつつも 「これも新しい絵画の見方かも……」と目からうろこが落ちたのが、 書籍化のきっかけです。

名画が本来持つテーマやメッセージが、主婦の愚痴とリンクしてしまうこともあり、 くすりと笑った後に、田中久美子先生監修の解説を読むと、妙に腑に落ちるのも 見所です。

快く掲載を許可してくださった投稿者の皆様にも感謝しております。

編集担当者 宝島社 第2書籍局 第2編集部 薗部 真一

### "#名画で学ぶ主婦業"の生みの親!? 「吾輩はたぶん猫」氏に聞きました!



《マラーの死》 ジャック=ルイ・ダヴィッド

### Q:「#名画で学ぶ主婦業」というハッシュタグを始めたきっかけは?

A:「#名画で学ぶ大学院」というハッシュタグが以前にあり、閲覧を楽しんでいました。可能なら参加したかったのですが、残念ながら大学院は出ていないので「それならかわりに今の自分の立場である"主婦"でやってみよう」とタグを立ち上げたのが始まりです。

## **Q:「吾輩はたぶん猫」さんが投稿したツイートは、やはり実体験に** もとづいたものなのでしょうか?

A: これは《マラーの死》を見た瞬間のインスピレーションで閃いてしまったネタです。なので、じつは私の実体験ではありません。息子は提出物はわりとしっかり出してくれるほうで、むしろ私が手紙をもらったことを忘れて、当日息子にいわれて青くなった経験が何度かあります(笑)。

### 『#名画で学ぶ主婦業』の一部をご紹介



《落穂拾い》 ジャン=フランソワ・ミレー



《レディ・ジェーン・グレイの処刑》 ポール・ドラローシュ



《アメリカン・ゴシック》 グラント・ウッド



《見知らぬ女》 イワン・クラムスコイ